令和2（2020）年度博士前期課程（外国人留学生選抜）問題 目次

		ページ
	日本語試験	2
	専門試験	ページ
文化形態論	哲学哲学史	3
	現代思想文化学	—
	臨床哲学	4
	中国哲学	—
	インド学・仏教学	—
	日本学	5～6
	日本史学	—
	東洋史学	—
	西洋史学	—
	考古学	—
	人文地理学	7～8
文化表現論	日本文学	9～12
	比較文学	—
	中国文学	13～15
	英米文学	—
	ドイツ文学	—
	フランス文学	—
	国語学	16～18
	日本語学	19
	英語学	20～21
	美学	22
	文芸学	—
	音楽学	23～24
	演劇学	25～26
	日本・東洋美術史	27～29
西洋美術史	30	

令和二(二〇二〇)年度

大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程/外国人留学生選抜) 入学者選抜試験問題

日本語試験

「問題用紙は三枚あります。」

次の文章を読んで、後の問いに日本語で答えなさい。答えはすべて解答用紙に書きなさい。なお、この問題用紙は縦書きですが、解答は横書きでかまいません(解答用紙は横書きの仕様になっています)。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

小宮正安(二〇〇二)「都市の語る言葉」『月刊言語』三一巻一二号、大修館書店、四頁～五頁の全文

問1 傍線部(a)～(e)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (a) 巡らす (b) 赴く (c) お膝元
(d) 企てた (e) 宿した

問2 空欄ⅠおよびⅡにそれぞれ入る語句の組み合わせとしてもっとも適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- (ア) Ⅰ たとえば Ⅱ だが
(イ) Ⅰ とりわけ Ⅱ たしかに
(ウ) Ⅰ しかし Ⅱ にもかかわらず
(エ) Ⅰ とはいえ Ⅱ なぜなら
(オ) Ⅰ そこで Ⅱ すると

問3 傍線部『芸術』というよりかはむしろ、『術』といったほうがよい」のはなぜか、わかりやすく説明しなさい。

問4 この文章がいう「都市言語(都市の語る言葉)」について、自身の出身都市や居住したところのある都市が語る「都市言語」を、都市名をあげたうえで、八〇〇字程度で自由に述べなさい。

以上

令和2(2020)年度
大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程/外国人留学生選抜)入学者選抜試験問題
文化形態論専攻 哲学哲学史専門分野 専門試験

[問題用紙は1枚です。]

(1枚目/1枚中)

注意 ①解答はすべて所定の解答用紙に記入すること
②問題用紙は持ち帰ること

I 以下の英語文全文を日本語に訳しなさい。

A thing, if it is to be called such, must occupy some duration beyond the present moment, and hence succession is essential. The thing, to be at all, must be the same after a change, and the change must, to some extent, be predicated of the thing. If you suppose a case so simple as the movement of an atom, that is enough for our purpose. For, if this 'thing' does not move, there is no motion. But, if it moves, then succession is predicated of it, and the thing is a bond of identity in differences. And, further, this identity is ideal, since it consists in the content, or in the 'what we are able to say of the thing'. For raise the doubt at the end of our atom's process, if the atom is the same. The question raised cannot be answered without an appeal to its character. It is different in one respect—namely, the change of place; but in another respect—that of its own character—it remains the same. And this respect is obviously identical content.

<F. H. Bradley, *Appearance and Reality: A Metaphysical Essay*, reprinted ninth impression of second edition, Oxford University Press, 1955, p. 62, l. 3 - l. 20.>

II 以下の語句の中から、2項目を選択し、その番号を記した上、日本語で3行程度で解説しなさい。

- 1 弁証法
- 2 言語ゲーム
- 3 オッカムの剃刀
- 4 モナド
- 5 世界内存在

III 共同体と規範の関係について、日本語で論じなさい。

令和2（2020）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻 臨床哲学専門分野 専門試験

[問題用紙は1枚です]

問題1 医療における「患者の権利」について、哲学・倫理学説に関連させて述べなさい。

問題2 次の4つの概念のうち、3つを選んで説明しなさい。

- ① 規範
- ② 幸福
- ③ ジェンダー
- ④ コミュニケーション

問題3 次の英文を和訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次の通りです。
"Care: History of the Notion of Care" in: *ENCYCLOPEDIA OF BIOETHICS* revised edition, by Warren T. Reich, editor in chief, Simon & Schuster Macmillan, N.Y., 1995. Vol. 1, p. 327. 左 34 行～右 10 行（出題の関係上、文章の一部を省略している）

令和2（2020）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻 日本学専門分野 専門試験

〔問題用紙は2枚です。〕

（1枚目／2枚中）

〔I〕 次の項目から、3項目を選んで説明しなさい。

- (1) 護国派 (2) 懐徳堂 (3) 政教社 (4) 農山漁村経済更生運動
(5) 民族学級 (6) 全国総合開発計画 (7) 大田昌秀 (8) 戦争遺跡
(9) 両墓制 (10) エドアルド・キョッソーネ (11) 金子文子 (12) 不敬罪

〔II〕 次の4問のうちの1つを選んで答えなさい。

- (1) 近世日本における儒教と社会の関係について、中国・朝鮮の場合と比較しながら論じなさい。
(2) 1980年代に日本研究が盛んになる背景と、そこでの日本論のもつ傾向について、前後の歴史的
文脈も示しながら論じなさい。
(3) 「記憶」と「歴史」の関係について、具体的な事例に即して論じなさい。
(4) 「記念碑」が人々の統合／分断をもたらすことについて、具体的な事例を挙げながら論じなさい。

(2 枚目 / 2 枚中)

[Ⅲ] 次の文章は、Andrew Gordon, *A Modern History of Japan: From Tokugawa Times to the Present*, International Third Edition (Oxford University Press, 2014) の一節 (72 頁 44 行目～73 頁 32 行目) である。これを読んで、次の問いに答えなさい。

1. 下線部①を日本語訳しなさい。
2. 下線部②について、“respect” と “anger” が “coexist” することになったのはなぜか、簡潔に説明しなさい。
3. 下線部③の観点を踏まえつつ、近現代日本の西洋観について、具体的事例を挙げながら論じなさい。

* 下線部①は 73 頁 14 行目 “They” からそのパラグラフの終わりまで。

* 下線部②は 73 頁 20 行目 “This” から 22 行目 “powers” まで。

* 下線部③は 73 頁 27 行目 “the West” から 28 行目 “opportunity” まで。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお出典は上記のとおりです。

令和2（2020）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻 人文地理学専門分野 専門試験

[問題用紙は2枚です。]

（1枚目/2枚中）

（中辞典程度の英語辞書の持ち込みを可とします）

以下の問い（問1～問3）に答えなさい。解答は、解答用紙に記入すること。

問1

次の(a)～(i)は、地理学に関連する理論や概念を挙げたものである。これらの中から2つを選んで解説しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

(a) 環境決定論	(b) 文化的適応	(c) レッシュの空間経済モデル
(d) 産業集積	(e) 孤立国	(f) 時間地理学
(g) 計量革命	(h) 電子基準点	(i) 世界都市

問2

次の(a)～(d)の問いの中から1つを選んで解答しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

- (a) P.ハゲットの地理学観について論じなさい。
- (b) 日本の都市郊外に関する研究について、具体的事例を挙げて論じなさい。
- (c) 中国の退耕還林について、その概要と問題点を挙げて論じなさい。
- (d) GNSSを利用した人間行動の研究事例を紹介し、その意義を述べなさい。

(2枚目/2枚中)

問3

つぎの英文を読んで、下の問い(問ア・問イ)に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Domosh, M. (2017) "Radical Intradisciplinarity: An Introduction". *Annals of the American Association of Geographers* 107(1), pp.1-3 より p.1 の本文左段 1-23 行部分を一部抜粋・改変。

問ア

下線部(a)に関して、この地理学者の自然地理学観における系統地理学と地誌学との弁証法的関係について述べなさい。

問イ

下線部(b)および下線部(c)に関して、この二つの用語で示される態様を参照しつつ、地理学の特徴を説明しなさい。

令和二(二〇二〇)年度

大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程/外国人留学生選抜) 入学者選抜試験問題

文化表現論専攻 日本文学専門分野 専門試験【問題用紙は四枚あります】

□ 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

むかし、平家盛んなりし頃、大将宗盛の召使に、熊野といふ、心だてやさしき女ありけり。或年の春、国もとの母、重病の由、言ひおこしければ、①看病の爲め、身の暇賜はりたし、と願ひけれど、花見の折に、用あればとて、許されざりき。其のうちに、使、又来りて、母の命、今にも危し、と伝言す。熊野は、心も狂ふばかり、気をもみけり。

折しも、宗盛召しければ、参りけるに、「けふは、天気よければ、花見にゆくべし。準備して供せよ。」と言ふ。「かしこまりぬ。」と答へけれども、つらさに、打ち萎れるたり。

宗盛、其の顔色の、常とちがふを見て、「如何にしたるぞ。」と問ふ。熊野、恐るく、「母の病重りて、命危ければ、先頃も願ひし通り、何卒、御暇賜はりたし。」といふ。②宗盛は、きゝもはてず、「けふの花見すまば、随意にせよ。只一日待てぬこともあらじ、ともかくも供せよ。」といひて、車にて出かけぬ。

抛なく、車につきて、出でけるが、熊野は、途々思ふ様、「③花は、春くれば、又咲くものゆゑ、散ればとて、惜しからねど、二つなきものは、人の命なり。命の糸は、一たびちぎるれば、二たびとは、つなぎ難し。なさけなや、此の世にては、もはや、母様に逢はれぬか。」と、人知らぬ涙にむせびけり。

さるほどに、宗盛の車は、④清水寺に着きぬ。広やかなる境内も、うづまるばかりに咲き乱れたるしだれ桜、一重桜など、美しく、今を盛りの風情、譬へんに物なし。宗盛は、盃をとりて、此のけしきをながめ、腰元に、舞ひ歌はせて、楽しみけるが、はては、熊野にも、舞へ、といひつく。熊野は、かなしさに、舞ひ歌ふ氣勢はなけれど、主人のいひつけゆる、是非なく、

⑤「いかにせん、都の春も 惜しけれど、
なれしあづまの 花や散るらん。」

と、母の病気の、且夕にせまれる由をほめかしつゝ、舞ひければ、聞くもの、皆あはれがりて、泣きけり。

思ひやり薄き宗盛も、不便と感じてや、即座に、暇を与へければ、熊野は、取るものも取りあへず、その場より、旅立ちして、あづまの母のもとへ帰りけり。

(坪内雄蔵『国語読本』第4巻 卷三『富山房、一九〇〇年』)

問一 傍線部①を現代語訳しなさい。

問二 傍線部②を現代語訳しなさい。

問三 傍線部③を現代語訳しなさい。

問四 傍線部④「清水寺」について、知っていることを述べなさい。

問五 傍線部⑤の歌には、誰のどのような思いが表現されているか、説明しなさい。

〔二〕 次の文章は、大槻文彦が書いた、国語調査委員会編纂『口語法別記』(一九一七(大正六)年)の序論の一部分である。これを読んで、後の問いに答えなさい。(原文の表記を一部改めてある)
(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

○東国の言葉は、昔は、京都の人からは賤しめられて居った。源氏物語の宿木、東屋などに、東国の言葉を「あづま声」と云い、平家物語に斎藤実盛の言葉を「坂東声」と云ってある。拾遺集に「あづまにて、養はれたる人の子は、舌だみてこそ、物は言ひけれ」、とあるのでも分る。然るに、東国武士の勢が盛になり、鎌倉室町の世に、東国言葉が、京都言葉を襲って、江戸の世となって、又新に、江戸言葉が出来て、今では、江戸言葉が、日本の口語の目当となるようになった。

江戸は、もと、空漠とした地に、新に、町を開いたものであるから、土地の者も居たろうが、畿内、東海道筋の町人が、多く集つて来たものであつて、江戸の言葉は、その初は、甚だ混沌としたものであつた。然るに、一方に、武士という者があり、戦国時代の余習で、旗本奴の大小の神祇組、又は、男達、町奴の六方組、白柄組、などいうものが、盛に出て来て、是等が、関東の荒くれた気風を、言葉の上にも及ぼして、上方言葉のなまぬるいものを変じて、強く急なものとして、芝居の荒事狂言の上にも用いられ、それが広がつて、遂に、一つの江戸言葉というものが、成立つたものと思う。是が、元禄頃に至つて、一定したので、つまり、関東と関東との言葉が、雜つて出来たものである。

京都の言葉は、東西南北に広がつて、遠くなるに随つて、段々に変わるが、その変り目は、色のほかしのようで、はつきりと境目が分らぬが、江戸言葉は、四里四方の内に限つて、其境を出ると、四方は、元の武蔵の言葉であるから、海中の島のようにである。これが俄に出来た都であるからである。しかし、江戸時代には、同じ江戸言葉の中で、町人言葉でも、山の手言葉、下町言葉、神田の職人言葉、吉原言葉、佃島言葉など、それぞれ違つて居た。武家の言葉の方でも、幕府の旗本言葉、御家人言葉、又は、諸国から勤番する者は別として、諸大名の江戸定府の家来の言葉などが、又異なつて居た。明治の世となつて、それが、大分混合して、諸国の侍などが、集つて常住するようになって、皆、江戸言葉に化せられるようになり、そうして漢字書生が、多く、政府の官員となり、学校の教員となつたから、漢語を遣う事が大に行われ、漢文の訓点書き下しの文語などが、口語にまじるようになり、遂に、今の東京言葉となつたのである。

○信濃越後と、美濃飛騨越中との間に、南北に亘る御岳系の大山脈で、言葉は、大凡、東西に分れて居る。万葉集の東歌と云うのも、遠江信濃から東である。今の口語も、此山脈で分れて居ること、次のようである。(以下略)

問一 傍線部(1)は、どのようなことを言っているのか、簡単に説明しなさい。

問二 傍線部(2)について、現在の東京の言葉における関西言葉の要素について知るところを述べなさい。

問三 傍線部(3)について、江戸言葉と江戸の外側の言葉との違いについて、知るところを述べなさい。

問四 傍線部(4)に言うような、東西の方言の違いについて、知るところを述べなさい。その際、以下の二点に留意しなさい。①文法にかかわる事項など、なるべく体系的な違いについて述べること。②東京と関西の違いではなく、東日本と西日本の違いについて述べること。

〔三〕 次の文章は、中国の古典『西遊記』を中島敦が翻案した小説『悟浄歎異』（『南島譚』）今日の問題社、一九四二（所収）の一部です。これを読んで、後の問いに答えなさい。（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

《引用は『中島敦全集』（筑摩書房、一九七六）三二二―三二四頁》

悟空は確かに天才だ。之は疑ひ無い。それは初めて此の猿を見た瞬間に直ぐ感じ取られたことである。初め、赭顔・鬚面の其の容貌を醜いと感じた俺も、次の瞬間には、彼の内から溢れ出るものに圧倒されて、容貌のことなど、すっかり忘れて了つた。今では、時に此の猿の容貌を美しい（とは云へぬ迄も少くとも立派だ）とさへ感じる位だ。其の面魂にも其の言葉つきにも、悟空が自己に對して抱いてゐる信頼が、生々（いきまき）と溢れてゐる。此の男は嘘のつけない男だ。誰に對してよりも、先づ自分に對して。此の男の中には常に火が燃えてゐる。豊かな、激しい火が。其の火は直ぐに傍にゐる者に移る。彼の言葉を聞いてゐる中に、自然に此方も彼の信ずる通りに信じないではゐられなくなつて来る。彼の側にゐるだけで、此方までが何か豊かな自信に充ちて来る。彼は火種。世界は彼の爲に用意された薪。世界は彼に依つて燃される爲に在る。

我々には何の奇異も無く見える事柄も、悟空の眼から見ると、悉く素晴らしい冒険の端緒だつたり、彼の壯烈な活動を促す機縁だつたりする。もと／＼意味を有つた外の世界が彼の注意を惹くといふよりは、寧ろ、彼の方で外の世界に一つ／＼意味を與へて行くやうに思はれる。彼の内なる火が、外の世界に空しく冷えた儘眠つてゐる火薬に、一々點火して行くのである。探偵の眼を以て其等を探し出すのではなく、詩人の心を以て（恐ろしく荒っぽい詩人だが）彼に觸れる凡てを温め、（時に焦す惧も無いではない。）其處から種々な思ひ掛けのない芽を出させ、實を結ばせるのだ。だから、渠・悟空の眼にとつて平凡陳腐なものは何一つ無い。毎日早朝に起きると決つて彼は日の出を拜み、そして、始めてそれを見る者の様な驚嘆を以て其の美に感じ入つてゐる。心の底から、溜息をついて、讚嘆するのである。これが殆ど毎朝のことだ。松の種子から松の芽の出かかつてゐるのを見て、何たる不思議さよと眼を墮（お）るのも、此の男である。

此の無邪氣な悟空の姿と比べて、一方、強敵と闘つてゐる時の彼を見よ！ 何と、見事な、完全な姿であらう！ 全身些かの隙もない逞しい緊張。律動的で、しかも一分の無駄も無い棒の使ひ方。疲れを知らぬ肉體が歡び・たけり・汗ばみ・跳ねてゐる。其の圧倒的な力量感。如何なる困難をも欣んで迎へる強靱な精神力の汪洋。それは、輝く太陽よりも、咲誇る向日葵（ひまわり）よりも、鳴盛る蟬よりも、もつと打込んだ・裸身の・壯んな・没我的な・灼熱した美しさだ。あのみつともない猿の闘つてゐる姿は。

一月程前、彼が翠雲山中で大いに牛魔王と戦つた時の姿は、未だにはつきり眼底に残つてゐる。感嘆の餘り、俺は其の時の戦闘經過を詳しく記録に取つて置いた位だ。

……牛魔王一匹の香樟と變じ悠然として草を喰ひぬたり。悟空之を悟り虎に變じ駈け來りて香樟を喰はんとす。牛魔王急に大約と化して虎を撃たんと飛び掛かる。悟空之を見て猿となり大約目掛けて襲ひかかれば、牛魔王、さらばと黄獅に變じ霹靂の如くに哮つて猿を引裂かんとす。悟空この時地上に轉倒すと見えしが、竟に一匹の大象となる。鼻は長蛇の如く牙は笥（かき）に似たり。牛魔王堪へかねて本相を顯し、忽ち一匹の大白牛たり。頭は高峯の如く眼は電光の如く雙角は兩座の鐵塔に似たり。頭より尾に至る長さ千餘丈、蹄より背上に至る高さ八百丈。大言に呼ばはつて曰く、爾惡猴今我を如何とするや。悟空又同じく本相を顯し、大喝一聲するよと見るまに、身の高さ一萬丈、頭は泰山に似て眼は日月の如く、口は恰も血池にひとし。奮然鐵棒を揮つて牛魔王を打つ。牛魔王角を以て之を受止め、兩人半山の中にあつて散々に戦ひければ、寔に山も崩れ海も湧返り、天地も之がために反覆するかと、すさまじかり。

何といふ壯觀だつたらう！ 俺はホツと溜息を吐いた。傍から助太刀に出ようといふ氣も起らない。孫行者の負ける心配が無いからといふのではなく、^①一幅の完全な名畫の上に更に拙い筆を加へるのを愧ぢる氣持からである。

災厄は、悟空の火にとつて、油である。困難に出會ふ時、彼の全身は（精神も肉體も）焰々と燃上る。逆に、平穩無事の時、彼は可笑しい程、しよげてゐる。獨樂のやうに、彼は、何時も全速力で廻つてゐなければ、倒れて了ふのだ。困難な現實も、悟空にとつては、一つの地圖——目的地への最短の路がハッキリと太く線を引かれた一つの地圖として映るらしい。現實の事態の認識と同時に、其の中にあつて自己の目的に到達すべき道が、實に明瞭に、彼には見えるのだ。或ひは、其の途以外の一切が見えない、といった方が本當かも知れぬ。闇夜の發光文字の如くに、必要な途だけがハッキリ浮かび上り、他は一切見えないのだ。我々鈍根のものが未だ茫然として考へも纏まらない中に、悟空はもう行動を始める。目的への最短の道に向つて歩き出してゐるのだ。人は、彼の武勇や腕力を云々する。しかし、其の驚くべき天才的な智慧に就いては素外知らないやうである。彼の場合には、その思慮や判断が餘りにも渾然と、腕力行爲の中に溶け込んでゐるのだ。

俺は、悟空の文言なことを知つてゐる。曾て天上で弼馬溫なる馬方の役に任ぜられながら、弼馬溫の字も知らなければ、役目の内容も知らないでゐた程、無學なことを良く知つてゐる。しかし、俺は、悟空の（力と調和された）智慧と判断の高さを何ものにも優して高く買ふ。悟空は教養が高いとさへ思ふこともある。少くとも、動物・植物・天文に關する限り、彼の智識は相當なものだ。彼は、大抵の動物なら一見して其の性質、強さの程度、その主要な武器の特徴などを見抜いて了ふ。雑草に就いても、どれが藥草で、どれが毒草かを、實に良く心得てゐる。その癖、其の動物や植物の名稱（世間一般に通用してゐる名前）は、全然知らないのだ。彼は又、星によつて方角や時刻や季節を知るのを得意としてゐるが、角宿といふ名も心宿といふ名も知りはしない。二十八宿の名を悉くそらんじてゐながら實物を見分けることの出來ぬ俺と比べて、何といふ相異だらう！ 目に一丁字の無い此の猴（まゐ）の前（まへ）にゐる時程、文字による教養の哀れさを感じさせられることはない。

問一 傍線部①の氣持ちを、わかりやすく説明しなさい。

問二 傍線部②のように語り手が感じるのはなぜか、説明しなさい。

問三 引用した部分からは、語り手（俺）＝沙悟淨（？）のどのような性格が読み取れますか。考えるところを述べなさい。

令和2(2020)年度
大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程/外国人留学生選抜)入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 中国文学専門分野 専門試験

[問題用紙は3枚です]

I 次のA・Bふたつの韻文を読んで、後の問いに答えなさい。解答は日本語を用いること。

A 章臺柳章臺柳昔日青青今在否縱使長條似舊垂也應攀折
他人手 (韓翃《章臺柳》)

B 楊柳枝芳菲節可恨年年贈離別一葉隨風忽報秋縱使君來
豈堪折 (柳氏《章臺柳》)

問1 AとBから韻字をすべて抜き出しなさい。

問2 AとBは問答になっており、男性が詠んだAに対し女性が応えたのがBである。このことを念頭において、AとBをそれぞれわかりやすく日本語に訳しなさい。

II 次にあげる甲・乙ふたつの文章を読んで、後の問いに答えなさい。解答は日本語を用いること。

【甲】

臣聞(a)先王之時，一道德，同風俗，士大夫無意於爲文。故六藝之文，事詞相稱，始終本末，如出一人之手。後世道術爲天下裂，士大夫始有意於爲文。故自周衰以來，作者班班相望而起，奮其私知，各自名家。然總而論之，未有如韓愈者也。

何則，夫所謂文者，有論理之文，有論事之文，有叙事之文，有託詞之文，有成體之文。探道德之理，述性命之情，發天人之奧，明死生之變，此論理之文，如列禦寇莊周之所作是也。別白黑陰陽，要其歸宿，決其嫌疑，此論事之文，如

蘇秦張儀之所作是也。考同異，次舊聞，不虛美，不隱惡，人以爲實錄，此敘事之文，如司馬遷班固之作是也。原本山川，極命草木，比物屬事，駭耳目，變心意，此託詞之文，如屈原宋玉之作是也。(b)鈎列莊之微，挾蘇張之辯，摭班馬之實，獵屈宋之英，本之以詩書，折之以孔氏，此成體之文。韓愈之所作是也。盖前之作者多矣，而莫有備於愈，後之作者亦多矣，而無以加於愈。故曰，總而論之，未有如韓愈者也。

然則列莊蘇張班馬屈宋之流，其學術才氣，皆出於愈之文，猶杜子美之於詩，實積衆家之長，適當其時而已。昔蘇武李陵之詩，長於高妙，曹植劉公幹之詩，長於豪逸，陶潛阮籍之詩，長於冲澹，謝靈運鮑照之詩，長於峻潔，徐陵庾信之詩，長於藻麗。於是杜子美者，窮高妙之格，極豪逸之氣，包冲澹之趣，兼峻潔之姿，備藻麗之態，而諸家之作所不及焉。(c)然不集諸家之長，杜氏亦不能獨至於斯也。豈非適當其時故耶。

孟子曰，伯夷，聖之清者也，伊尹，聖之任者也，柳下惠，聖之和者也，孔子，聖之時者也。孔子之謂集大成。嗚呼，杜氏韓氏，亦集詩文之大成者歟。

(秦觀《韓愈論》)

【乙】

(d)韓退之以爲文人則有餘，以爲知道則不足。何則，文章自東漢以來，氣象則已卑矣。分爲三國，又列爲南北。天下大亂，士氣不振，而又雜以蠻夷輕淫靡慢之風，亂以羌胡悍魯鄙悖之氣。至于唐而大壞矣。雖人才衆多如貞觀，風俗平治如開元，而惟文章之荒，未有能振其弊者。愈當貞元中，獨却而揮之，上窺典墳，中包遷固，下逮騷雅，沛然有餘，浩乎無窮。是愈之才有見于聖賢之文，而後如此。其在夫子之門，將追游夏而及之，而比之于漢以來齷齪之文人，則不可。

然則愈知道歟。曰，愈未知也。(e)愈之原道曰，博愛之謂仁，行而宜之之謂義，由是而之焉之謂道。果如此，則舍仁與義而非道也。仁與義爲定名，道與德爲虛位。道有君子，有小人，德有吉，有凶。若如此，道與德特未定，而仁與義皆道也。是愈于道，本不知其何物，故其言紛紛異同而無所歸。而獨不知子思之言乎。天命之謂性，率性之謂道，修道之謂教。曰性曰道曰教，而天下之能事畢矣。禮樂刑政，所謂教也，而出于道。仁義禮智，所謂道也，而出于性。性則原于天。論至于此而足矣，未嘗持一偏，曰如是謂之道，如是謂之非道，曰定名，曰虛位也。則子思實知之矣。愈者擇焉而不精，語焉而不詳，而健于言者歟。

(張耒《韓愈論》)

- 問1 下線部(a)を日本語に訳しなさい。
問2 下線部(a)はどのようなことをいうのか、分かりやすく説明しなさい。
問3 下線部(b)を日本語に訳しなさい。

- 問4 下線部(c)を日本語に訳しなさい。
- 問5 甲の文章は韓愈についてどのようにとらえているのか、分かりやすく説明しなさい。
- 問6 下線部(d)を日本語に訳しなさい。
- 問7 下線部(e)を日本語に訳しなさい。
- 問8 乙の文章は韓愈の道論についてどのようにとらえているのか、「子思」の言葉も踏まえながら分かりやすく説明しなさい。
- 問9 甲・乙ふたつの文章を比較しながら、それぞれの韓愈認識の特徴について自由に論じなさい。

Ⅲ 次の項目のうち一つを選び、日本や西洋の文学も視野に入れながら考えるところを述べなさい。解答は日本語を用いること。

- (A) 中国文学における国家と個人
- (B) 中国文学における都市と農村

令和二(二〇二〇)年度

大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程)/外国人留学生選抜 入学者選抜試験問題

文化表現論専攻 国語学専門分野 専門試験【問題用紙は三枚です】

(一枚目/三枚中)

一 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。
(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

むかし、平家盛んなりし頃、大将宗盛の召使に、熊野といふ、心だてやさしき女ありけり。或年の春、国もとの母、重病の由、言ひおこしければ、①看病の爲め、身の暇賜はりたし、と願ひけれど、花見の折に、用あればとて、許されざりき。其のうちに、使、又来りて、母の命、今にも危し、と伝言す。熊野は、心も狂ふばかり、気をもみけり。

折しも、宗盛召しければ、参りけるに、「けふは、天気よければ、花見にゆくべし。準備して供せよ。」と言ふ。「かしこまりぬ。」と答へけれども、つらさに、打ち萎れるたり。

宗盛、其の顔色の、常とちがふを見て、「如何にしたるぞ。」と問ふ。熊野、恐るゝ、「母の病重りて、命危ければ、先頃も願ひし通り、何卒、御暇賜はりたし。」といふ。②宗盛は、ききもはばかず、「けふの花見すまば、随意にせよ。只一日待てぬこともあらじ、ともかくも供せよ。」といひて、車にて出かけぬ。

抛なく、車につきて、出でけるが、熊野は、途々思ふ様、「③花は、春くれば、又咲くものゆゑ、散ればとて、惜しからねど、二つなきものは、人の命なり。命の糸は、一たびちぎるれば、二たびとは、つなぎ難し。なさけなや、此の世にては、もはや、母様に逢はれぬか。」と、人知らぬ涙にむせびけり。

さるほどに、宗盛の車は、④清水寺に着きぬ。広やかなる境内も、うづまるばかりに咲き乱れたるしだれ桜、一重桜など、美しく、今を盛りの風情、譬へんに物なし。宗盛は、盃をとりて、此のけしきをながめ、腰元に、舞ひ歌はせて、樂しみけるが、はては、熊野にも、舞へ、といひつく。熊野は、かなしさに、舞ひ歌ふ氣勢はなけれど、主人のいひつけゆゑ、是非なく、

⑤「いかにせん、都の春も 惜しけれど、

なれしあづまの 花や散るらん。」

と、母の病気の、且夕にせまれる由をほのめかしつゝ、舞ひければ、聞くもの、皆あはれがりて、泣きけり。

思ひやり薄き宗盛も、不便と感じてや、即座に、暇を与へければ、熊野は、取るものも取りあへず、その場より、旅立ちして、あづまの母のもとへ帰りけり。

(坪内雄蔵『国語読本 巻三』富山房、一九〇〇年)

問一 傍線部①を現代語訳しなさい。

問二 傍線部②を現代語訳しなさい。

問三 傍線部③を現代語訳しなさい。

問四 傍線部④「清水寺」について、知っていることを述べなさい。

問五 傍線部⑤の歌には、誰のどのような思いが表現されているか、説明しなさい。

□ 次の文章は、大槻文彦が書いた、国語調査委員会編纂『口語法別記』(一九一七(大正六)年)の序論の一部分である。これを読んで、後の問いに答えなさい。(原文の表記を一部改めてある)

(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

○東国の言葉は、昔は、京都の人からは賤しめられて居った。源氏物語の宿木、東屋などに、東国の言葉を「あづま声」と云い、平家物語に斎藤実盛の言葉を「坂東声」と云ってある。拾遺集に「あづまにて、養はれたる人の子は、舌だみてこそ、物は言ひけれ」、とあるのでも分る。然るに、東国武士の勢が盛になり、鎌倉室町の世に、東国言葉が、京都言葉を襲って、江戸の世となって、又新に、江戸言葉が出来て、今では、(1)江戸言葉が、日本の口語の目当となるようになった。

江戸は、もと、空漠とした地に、新に、町を開いたものであるから、土地の者も居たろうが、畿内、東海道筋の町人が、多く集って来たものであって、江戸の言葉は、その初は、甚だ混沌としたものであった。然るに、一方に、武士という者があり、戦国時代の余習で、旗本奴の大小の神祇組、又は、男達、町奴の六方組、白柄組、などいうものが、盛に出て来て、是等が、関東の荒くれた気風を、言葉の上にも及ぼして、上方言葉のなまぬるいものを変じて、強く急なものとして、芝居の荒事狂言の上にも用いられ、それが広がって、遂に、一つの江戸言葉というものが、成立ったものと思う。是が、元禄頃に至って、一定したので、つまり、(2)関西と関東との言葉が、雑って出来たものである。

京都の言葉は、東西南北に広がって、遠くなるに随って、段々に変わるが、その変り目は、色のほかしのようで、はつきりと境目が分らぬが、(3)江戸言葉は、四里四方の内に限って、其境を出ると、四方は、元の武蔵の言葉であるから、海中の島のようにである。これが俄に出来た都であるからである。しかし、江戸時代には、同じ江戸言葉の中で、町人言葉でも、山の手言葉、下町言葉、神田の職人言葉、吉原言葉、佃島言葉など、それぞれ違つて居た。武家の言葉の方でも、幕府の旗本言葉、御家人言葉、又は、諸国から勤番する者は別として、諸大名の江戸定府の家来の言葉などが、又異なつて居た。明治の世となつて、それが、大分混合して、諸国の侍などが、集つて常住するようになって、皆、江戸言葉に化せられるようになり、そうして漢字書生が、多く、政府の官員となり、学校の教員となつたから、漢語を遣う事が大に行われ、漢文の訓点書き下しの文語などが、口語にまじるようになり、遂に、今の東京言葉となつたのである。

○信濃越後と、美濃飛騨越中との間に、南北に亘る御岳系の大山脈で、言葉は、大凡、東西に分れて居る。万葉集の東歌と云うのも、遠江信濃から東である。(4)今の口語も、此山脈で分れて居ること、次のようである。(以下略)

問一 傍線部(1)は、どのようなことを言っているのか、簡単に説明しなさい。

問二 傍線部(2)について、現在の東京の言葉における関西言葉の要素について知るところを述べなさい。

問三 傍線部(3)について、江戸言葉と江戸の外側の言葉との違いについて、知るところを述べなさい。

問四 傍線部(4)に言うような、東西の方言の違いについて、知るところを述べなさい。その際、以下の二点に留意しなさい。①文法にかかわる事項など、なるべく体系的な違いについて述べること。

②東京と関西の違いではなく、東日本と西日本の違いについて述べること。

〔三〕 次の問いに答えなさい。(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

問一 次の各項について、知るところを述べなさい。

- (1) 訓令式
- (2) 格
- (3) 角筆
- (4) 二段活用の一段化
- (5) 記録体

問二 次の資料は、一六九五(元禄八)年に刊行された書物の一部である。これを見て、後の問いに答えなさい。

假名文字使規縮涼鼓集下

第九二

らんごう 蘭麝 <small>二種</small>	らんごう 蘭奢待 <small>名香、海鏡、有異大寺之文</small>
らんごん 雷神 <small>稲</small>	らんごう 郎從 <small>一徒</small>
らんごん 老人 <small>樂一</small>	らんごう 老中 <small>家</small>
らんごん 欄楯	らんごう 落城 <small>一時</small>
らんごう 老少不定	らんごう 落著
らんごう 乱声 <small>音楽</small>	らんごん 羅漢樹 <small>仙栢也</small>

第九三

ひまら 驛路 <small>一</small>	ひらつと	館 <small>日本紀客舎</small>
ひらび 梅津 <small>一</small>	ひらと	連 <small>志戸姓、本少一公</small>
ひらひ 無盡意 <small>一名</small>	ひらか	貉 <small>一</small>
ひらひ 淨瓶 <small>おそひん、鉢、鉢</small>	ひらさ	梅 <small>一</small>
ひらひ 梅漬	ひらさ	六十
ひらひ 無人声	ひらさ	無住寺
ひらひ 無常 <small>一</small>	ひらさ	無上 <small>一</small>
ひらひ 無常 <small>一</small>	ひらさ	出津 <small>清</small>
ひらひ 鼻 <small>一</small>	ひらさ	埋 <small>一</small>

- (1) □で囲った文字の中で、「和名」とは何を指すか詳しく説明しなさい。
- (2) この資料が編纂された目的を考へ、国語史上の事柄と関係づけて詳しく説明しなさい。

令和2(2020)年度
大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程/外国人留学生選抜)入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 日本語学専門分野 専門試験

[問題用紙は3枚です。]

[1] 次の文章を読んで、後の問いに日本語で答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
鈴木孝夫(1973)『ことばと文化』岩波書店(岩波新書;青-858, C98), 40ページ11行目から46ページ4行目まで

- 問1 傍線部(1)「英語の lip が、このように日本語の「くちびる」とは違うこと」について、両者がどう違うか、本文に即して説明しなさい。
- 問2 傍線部(2)「言語が違くと、ことばの示す対象の範囲が違う」のはなぜか、本文に即して説明しなさい。
- 問3 傍線部(3)「ことばそれ自体の細かい差異というものは、意外に正しく把握されていない」について、あなた自身の経験もふまえながら、自由に論じなさい。

[2] 次の12項目のなかから5項目を選んで、日本語で説明しなさい。

- (1) 語形のゆれ
- (2) 基幹語彙
- (3) 構文
- (4) 形式名詞
- (5) あいさつ
- (6) 常用漢字
- (7) 観察者の逆説 (observer's paradox)
- (8) 隠語
- (9) オフ・レコード・ポライトネス
- (10) IRE連鎖
- (11) 縦断研究
- (12) eラーニング

[3] あなたが今後研究しようとするテーマに関連するキーワードを5つ挙げ、それぞれについて日本語で説明しなさい。

以上

令和2(2020)年度
大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程/外国人留学生選抜)入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 英語学専門分野 専門試験

[問題用紙は2枚あります。]
(1枚目/2枚中)

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I.

(A) 次の英文を読み、全文を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお出典は次のとおりです。

[出典：Jan Don (2014) *Morphological Theory and the Morphology of English*. Edinburgh: Edinburgh University Press. p. 33, l. 12~1.26 一部省略、一部改変]

(B) 次の言語の変化についての英文を読み、下線部を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお出典は次のとおりです。

[出典：Shariatmadari, David (2019) *Don't Believe a Word: The Surprising Truth About Language*. The Orion Publishing Company. Kindle 版. 位置 No. 415-433]

(2枚目/2枚中)

II. 次の項目の中から5つ選び、簡潔に日本語で説明しなさい。

(a) Tense/Aspect	(f) Allophone
(b) Trajectory/Landmark	(g) Thematic roles
(c) Ambisyllabicity	(h) Tautology
(d) Head of a word	(i) Speech act
(e) Suppletion	(j) Deictic expressions

III. 次の和文の下線部を英語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお出典は次のとおりです。

[出典：大室剛志 (2018) 『ことばの基礎2 動詞と構文』 研究社 p.1 1.4~1.13]

IV. 大学院入学後の研究計画について、英語で説明しなさい。字数制限はありません。

令和2(2020)年度

大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程/外国人留学生選抜)入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 美学・文芸学専門分野 (美学受験分野) 専門試験

[問題用紙は2枚です。]

(1枚目/2枚中)

- 問1 自分の研究において重要な事例を3つ取り上げて、同じ3つの観点から比較をおこない、日本語の文章によって、3つの事例の違いが分かるように各事例の特徴を説明しなさい。事例として取り上げるものは、作品でも、思想でも、何でもかまいませんが、比較して意味があると思われる対象を選んでください。最初に、下の表を満たしてから文章化するといいいでしょう。表はあくまで考えを整理するための下書き用ですので、解答用紙には、表は書き込まず、文章によって答えること。(配点75点)

	観点1	観点2	観点3
事例 1			
事例 2			
事例 3			

- 問2 次の英語の文章を参照しながら、初期バウハウスの教育の特徴を日本語で簡潔に説明しなさい。(配点75点)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Petra Eisele, "Bauhaus," in *Design Dictionary: Perspectives on Design Terminology*, ed. Michael Erlhoff and Tim Marshall (Birkhäuser, 2008), p.39, l.1-26.

令和2（2020）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 音楽学・演劇学専門分野（音楽学受験分野） 専門試験

[問題用紙は2枚あります。]

(1枚目/2枚中)

問1 次の文章を日本語訳しなさい。なお、Thomas Adèsは現代の作曲家、obfuscatoryは「わかりにくい」という意味です。[配点50点]（出典 Thomas Adès and Tom Service, *Thomas Adès: Full of Noises*, 2012, p.vii, l.1- l.16)

(問題文は著者の著作権に配慮し、省略します。)

(2枚目/2枚中)

問2 複数の参考文献(日本語以外の言語で書かれた文献一つ以上を含む)をあげながら、自分の研究テーマについて説明しなさい。[配点40点]

問3 下の文章を読んで、ここに記されているものとは異なる「コミュニティー」のあり方を具体的に示しながら、「自作自演」についてのあなたの考えを述べなさい。[配点60点]

[出典:ジェームス・ドーシー「一九六〇年代のフォーク的主体性」(東谷護、マイク・モラスキー、ジェームス・ドーシー、永原宣『日本文化に何をみる?:ポピュラーカルチャーとの対話』、共和国)、71頁14行-72頁3行]

(問題文は著者の著作権に配慮し、省略します。)

令和2（2020）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 音楽学・演劇学専門分野（演劇学受験分野） 専門試験

[問題用紙は2枚です。]
(1枚目／2枚中)

問1 次の6つの項目全てについて、それぞれ100字程度の日本語で説明しなさい。

1) 能『葵上』	2) 近松門左衛門	3) 市川團十郎
4) チェーホフ	5) グローブ座	6) 『オイディプス王』

問2 問題用紙2枚目の英文は、*The World Encyclopedia of Contemporary Theatre, Vol.5, Asia/Pacific*, Don Rubin, (ed.), Routledge, 1998, p.234, left, l. 24-55です。この文章を読んで以下の設問に答えなさい。

設問1) この文章の第1パラグラフには、具体的な数名の演出家、劇作家、劇団が記され、それらの日本演劇の小劇場運動との影響関係が示唆されていますが、その影響関係について、具体的に日本語で説明しなさい。

設問2) この文章の第2パラグラフを日本語で要約しなさい。

問3 日本のいわゆる伝統演劇から任意の具体例をあげながら、それが現代においてかかえる問題と、その原因、それを解決する可能性がある方策について、あなたの考えを日本語で述べなさい。

(2枚目 / 2枚中)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

The World Encyclopedia of Contemporary Theatre, Vol.5, Asia/Pacific, Don Rubin,
(ed.), Routledge, 1998, p.234, left, l. 24-55

令和2（2020）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 美術史学専門分野（日本・東洋美術史受験分野） 専門試験

〔問題用紙は3枚です。〕

問1 次の語句について、それぞれにつき100字程度の日本語で説明しなさい。

- 1) システィーナ礼拝堂
- 2) ボロブドゥール寺院
- 3) 石窟庵

問2 別紙1の図は龍門石窟古陽洞にある造像記の拓本です。全文の内容を日本語で説明しなさい。

問3 別紙2の図は西安・宝慶寺旧蔵の仏三尊像（奈良国立博物館蔵）です。どのような作品なのか、図様や様式の特徴をできるだけ詳しく日本語で説明しなさい。

（1枚目/3枚中）

維大和之十八年十二月十一日 皇帝親幸
 六旌南伐蕭逆軍國二容別於洛汭行留雨音
 分於關水 太妃以聖善之現戎途戎核弟等
 以資孝之心 戈言奉淚其日太妃還家伊川立
 錫母子平安造彌勒像一區以置於此至廿二
 年九月廿三日法容剋魫回即造齋鑄石表心
 奉申前志永願母子長存化手眷屬內水終始
 榮期一切群生咸同其福

維大和三年九月三日侍中兼軍將軍北海王元詳造

〔龍門石窟の研究〕より

図は著作権等に配慮し、省略します。

令和2（2020）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 美術史学専門分野（西洋美術史受験分野） 専門試験

〔問題用紙は1枚です。〕

（1枚目/1枚中）

問1 以下の10項目について簡潔に説明しなさい

1. caricature	2. フェイディアス	3. Erwin Panofsky	4. ゴシック建築
5. シイステイナ礼拝堂	6. Philipp Otto Runge	7. Mark Rothko	8. Wiener Secession
9. Diaspora	10. ジョルジュ・ビゴー	Georges Ferdinand Bigot	

問2 下記の英語を日本語に訳しなさい。（出典 C. Blotkamp, *The End. Artists' Late and Last Works*, London 2019, p.218）

（問題文は著者の著作権に配慮し、省略します。）